



水稻生育期の管理作業(後編)

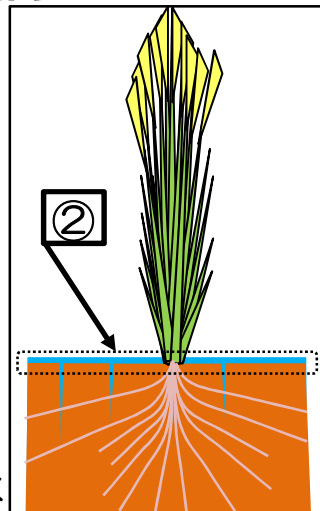
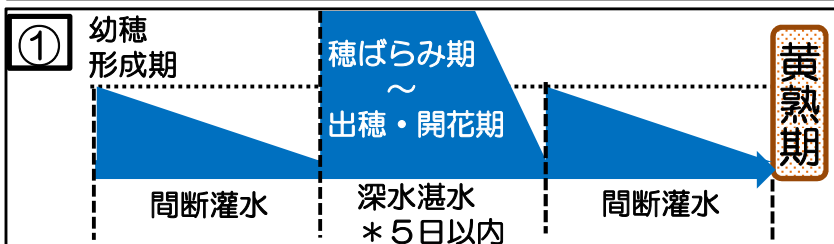


(適期に適切に行い、収量・品質を向上させましょう!)

1. 出穂期前後の水管理～玄米を作る重要な期間です～

＊ポイント

- ①穂ばらみ期～出穂・開花期の5日間は深水湛水
- ②田面には常に水がある状態を維持(飽水管理)



- ・高温時は特に水を切らさないようにしましょう。
- ・台風、フェーン現象時には前もって湛水し、脱水による穂の枯れ上がり防止しましょう。

2. 病害虫防除～収量・品質を左右します!～

＊カメムシ(斑点米の原因)防除のポイント

- ①1回目(粒剤:穂ばらみ期～出穂期) スタークル粒剤
(液剤・粉剤:穂揃期) ビームエイトスタークルゾル
ビームスタークル粉剤5DL 等
- 2回目(液剤・粉剤:1回目の7～10日後) トレボン乳剤・粉剤DL等
- ②出穂2週間前頃に畦畔を草刈し、カメムシの居場所をなくすことも有効
*但し、出穂前後の草刈は水田内にカメムシを呼び込むので厳禁!

＊穂いもち(不稔・充実不足の原因)防除のポイント

- ①1回目(粒剤:出穂2～3週間前) コラトップ粒剤5・豆つぶ等
(液剤・粉剤:穂ばらみ期) ブラシン水和剤・粉剤DL等
- 2回目(液剤・粉剤:穂揃期) ブラシンバリダフロアブル・粉剤DL等
- ②生育前期に葉いもちが発生した圃場は必ず防除!

- ・防除に使用する薬剤は、回数別に違うものを使用しましょう。
- ・カメムシ及び穂いもちは、時期が合えば同時防除が効率的です。

＊稲こうじ病(玄米汚損の原因)防除のポイント

- ①紋枯病と同様、毎年ほぼ決まった圃場で多発
- ②防除適期は出穂21日前～10日前のみ!
- ③防除薬剤は、Zボルドー粉剤DL・ドイツボルドーAが有効

3. 熱中症への備え～高温下の連続作業は非常に危険です!～

- ・休憩時間と水分補給を組み込んだ作業で、熱中症を未然に防ぎましょう。